

2020年12月3日
第一生命保険株式会社
責任投資推進部

第一生命のステュワードシップ活動

一生涯のパートナー

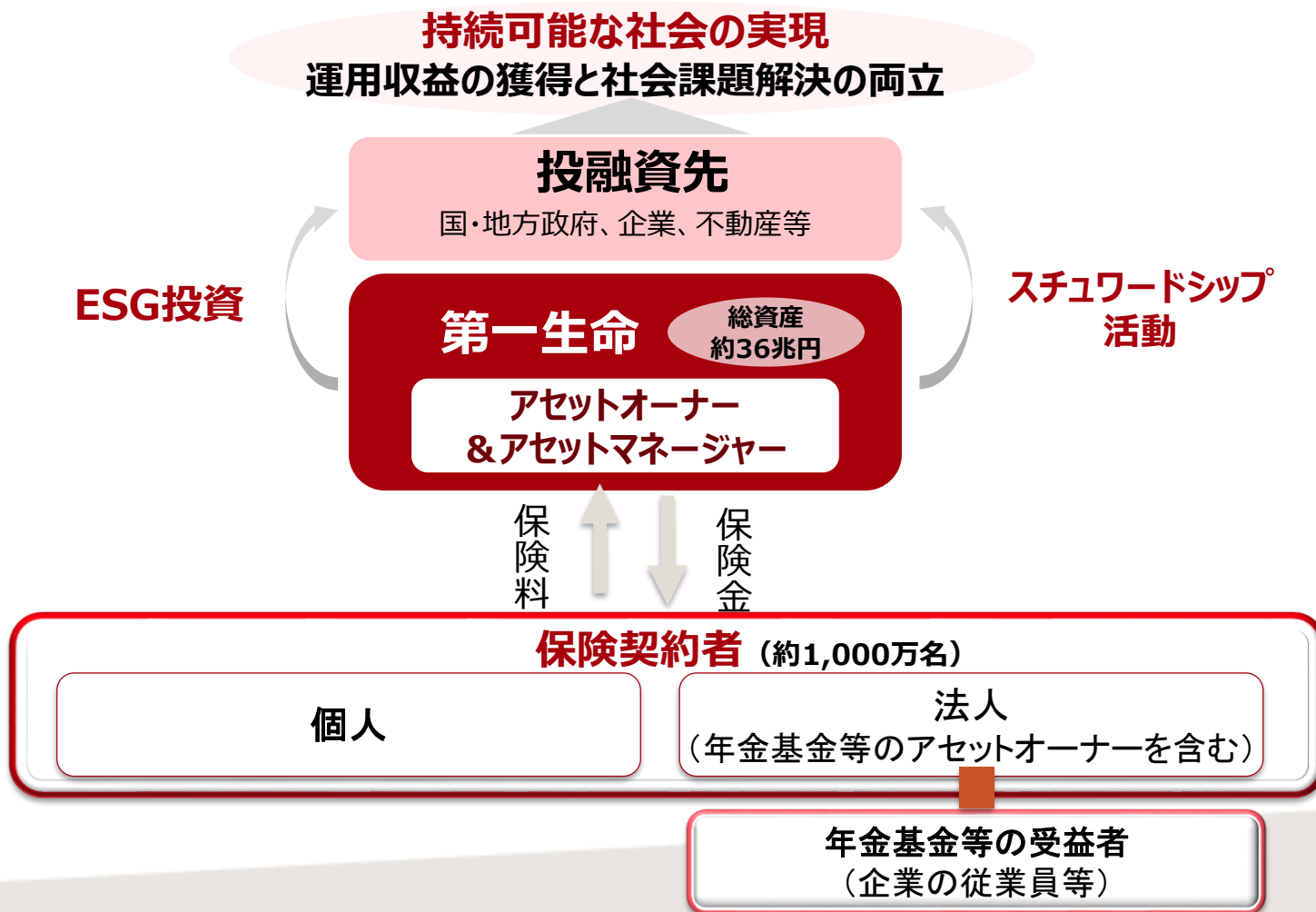
第一生命



Dai-ichi Life Group

第一生命保険の特徴

- ◆ 当社は、保険商品の提供を裏付けとした資産保有者（「アセットオーナー」）であると同時に、保険契約に基づく保険料の運用を自社（インハウス）で行う資産運用者（「アセットマネージャー」）の役割も担った機関投資家です。
- ◆ 「一生涯のパートナー」をミッションに掲げる当社の重要な取組の一つに責任投資（ESG投資・スチュワードシップ活動）を掲げ取組を推進することで、中長期的な投資リターンを獲得と持続可能な社会の実現を目指します。



第一生命のステewardシップ活動

- ◆ 体制強化を通じたエンゲージメント手法・テーマの多様化、議決権行使に関する情報開示充実による透明性向上等を通じて、エンゲージメントに重点を置いたステewardシップ活動を継続的にレベルアップしてきました。
- ◆ 当社では経営戦略・財務戦略に加えて、「ESG」をテーマとしたエンゲージメントに注力しており、2019年度以降は特に気候変動を重点テーマとして選定し、企業の気候変動への対応を促しています。

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
エンゲージメント 従事者数 (専任担当者数)	14名 (0名)	17名 (2名)	17名 (3名)	19名 (6名) 責任投資推進室新設	20名 (7名)	20名 (7名)
エンゲージメント 企業	110社	233社	277社	271社 3年毎累積でポートフォリオの時価総額の約9割をカバー	251社	239社 債券対話開始
			協働エンゲージメント (生保協会)	約100社 (書簡送付)	約110社 (書簡送付・対話)	約140社 (書簡送付・対話)
エンゲージメント テーマ	コーポレート・ガバナンス			環境・社会課題	本格開始 ESG 気候変動 対話強化	
				経営戦略		
				財務戦略		
議決権行使 結果の開示	議決権行使結果の集計表（議案種類毎）の開示			議決権行使基準の概要開示		議決権行使基準の詳細開示
				透明性 向上		個別議案毎の賛否開示（四半期毎）
						賛否理由開示

ステewardシップ・コード受入表明

スチュワードシップ活動の2020年度取組方針

(対象期間：2020年7月～2021年6月)

エンゲージメント

社会・事業環境の激変を踏まえ、ESGエンゲージメントを通じて企業の取組みや行動変容を後押し

◆ 新型コロナウイルス感染症拡大への対応

- ✓ 取引先等のサプライチェーン全体の安全・健康確保や従業員の働き方改革への取組、中長期的に持続可能なビジネスモデルへの変革に向けた経営方針（DX対応）等を確認



◆ 気候変動・廃棄プラスチック対話の強化

- ✓ TCFD提言に基づく開示など、気候変動問題への対応に加え、新たに廃棄プラスチック問題に対する取組みを重点テーマとし、対象企業の取組み方針を確認



◆ 議決権行使の判断理由の開示充実

- ✓ 個別判断理由の記載を一層充実させるなど、議決権行使に関する当社の考え方を分かりやすく開示し、建設的な対話を一層促進



◆ 対話手法の多様化

- ✓ 国内外の協働エンゲージメントへの参画を通じて、投資家共通の課題解決や市場環境整備に向け、個社単体以上の影響力を発揮



- ✓ ビデオ会議・電話会議や書簡の送付など、対面对話以外のエンゲージメント手段を積極的に活用

